

花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

令和元年6月29日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)					
バラ	青森		サムライ アバランジェ エスタ	4~12月 (6~9月)	0.63 (100%)	226 (104%)	202 (104%)	30	30	40		【JA津軽みらい】面積は横ばい、現在出荷最盛期となっている。生育は順調となっている。 【JA八戸】5月末から一部出荷が始まっている。生育は順調で、病害虫も特に見られない。
	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 他	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	1,024 (99%)	746 (98%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	各産地生育順調であり、平年並みの収量と品質が見込まれる。病害虫では、一部でアザミウマ類やハダニ類の発生が見られるが、品質・収量への影響はない。
アルストロメリア	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アロン レモネード	周年 (5・10月)	1,187 (103%)	4,503 (97%)		60	20	20	岩見沢市 JAいわみざわ	改植のため少なめ。
	青森	周年	オルガ アルー ピンクサプライス	周年 (5月~8月)	1.92 (100%)	1,089 (101%)	709 (101%)	20	30	60	藤崎町	【津軽地区】本年の面積は横ばい。生育は春先からの高温の影響から、5・6月の樹勢を抑えられず、7月の出荷ピークが1~2週間遅れる可能性あり。
トルコギキョウ	北海道	促成~	ハピネスホワイト ロベラブルーフラッシュ	5~11月	2,188	3,632		0	0	100	由仁町 JAそらち南	昨年は6月からの日照不足・低温により、生育が2週間ほど遅れたが、今年は今のところ生育は順調。
			マキアホワイト モンロー	8~9月	(100%)	(112%)		33	33	34		
	青森		セレブ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	5.13 (101%)	901 (108%)	568 (108%)			100		【津軽地区】越冬品について、生育は平年並みとなっており、6月末~7月上旬に出荷となる予定。4月定植についても、順調に推移しており、7月末からの出荷予定。 【県南地区】越冬品については、4月上旬の低温の影響で、若干草丈が短いものが散見されるが、生育は概ね順調で、6月下旬から出荷開始見込み。
秋田	施設・ 露地	セレブ ボヤージュ他	7月~11月 (8月~10月)	1191 (110%)	240	190		25	25	50	秋田ふるさと こまち うご	5月末より越冬の出荷開始。メガ団地の増もあり面積は前年比増。露地の出荷は6月末~を見込む。生育は順調だが、天候の影響で虫害が早くから散見される。

花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

令和元年6月29日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
トルコギキョウ	山形	加温・無加温	ポヤージュシリーズ レイナシリーズ ロジーナシリーズ 他白八重、他ピンク八重、他八重一重他	6月～11月 (7月～10月)	(100%)	600	450	30	30	40	JA庄内たがわ JA鶴岡 JAおいしいもがみ JA余目町 JAやまがた JA山形市	○今年の生育は例年並みで、生育が早かった昨年より1週間程度遅い。 ○7月出荷作型の生育は、現在、発雷期となっている。
	福島	施設	ポヤージュホワイト クラリスピンク レイナホワイト 他	5～11月 7月	(102%)	350	280	35	30	35	北会津 喜多方	ポヤージュ系中心の出荷。病害虫も少なく、生育は順調。今後の天候次第だが、出荷量は日々増量の見込み。
	群馬	施設(促成)	ロジーナ ポヤージュ バルカン ほか	周年 (6～11月)	(100%)	218	173	30	30	40	昭和村 富岡市	現在は東部地域の2番花の出荷が盛期を迎えているが、7月以降は利根沼田地域(昭和村、沼田市)に主産地が切り替わる見込み。各産地生育は順調であり、病害虫による大きな被害はない。
	長野	夏秋	マリアホワイト クラリスピンク コレゾシリーズ レイナシリーズ	7～9月 (8月上旬)		1,533	400	25	40	35	信州諏訪 上伊那 信州うえだ 佐久浅間	低温で遅れが見られる。
	千葉	施設	ポヤージュシリーズ 等	4～8月 (6月) 10～12月 (11月)	7.2 (100%)	460 (100%)	345 (100%)	35	35	30	館山市 鴨川市 南房総市(丸山、千倉)	ほぼ例年並みの作柄。
りんどう	秋田	施設・露地	アキタシリーズ シナノシリーズ パステル 他	6月～10月 (7月～9月)	4219 (98%)	2,100	1,200	10	30	60	秋田しんせい おばこ あきた白神	6月頭より施設の出荷開始。露地については雨不足の影響もあり、やや草丈短い圃場もあるが概ね順調。

花きの県別生産出荷概況(7月見通し)

令和元年6月29日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	上旬は数量増加、下旬は西南暖地は徐々に減少し、高冷地主体の入荷へ。ブライダル少なく、小売も引き合い弱く、相場は低調。特に上位等級で販売に苦戦。父の日需要で黄色、オレンジの引き合い強まる。	
	見通し	大田花き FAJ 第一花き 世田谷花き 東日本板橋花き 東京フラワーポート	高冷地がメインの取引になる。 ブライダル以外に目立った需要なく、厳しい相場展開。 暖地物は減少するが、価格上昇のきっかけはなく、厳しい状況は続く。 入荷量は昨年並みの予想。高冷地産は潤沢。上位等級引き合い強い見込み。 高温多湿による品質に対する心配から、小売りは仕入を控える動きあり。引き続き販売は鈍い。 山形産中心の販売。業務中心の引き合い。
アルストロメリア	現状	全体的な入荷量は減少傾向(愛知、長野減、北海道増)。 業務需要中心の動きで白・ピンクは安定した取引きだが、小売店は使用控えで単価はまちまち。底値安定の相場。	
	見通し	大田花き FAJ 第一花き 世田谷花き 東日本板橋花き 東京フラワーポート	北海道は安定した出荷量。全体的に底上げされた販売の見込み。 出荷数量は昨年並みを予想。葬儀主体に比較的安定した相場の見込み。 愛知産が減少し、北海道産、山形産、長野産が中心。 入荷・引き合い共に横ばい。 愛知・青森・北海道中心。昨年並みの入荷見込み。 入荷量激減で価格は回復していた。7月は北海道・青森中心の入荷。20日頃まで数量少ない。
トルコギキョウ	現状	高冷地はやや遅れており、長野産、福島産、山形産は徐々に増加。千葉産、茨城産は最盛期。西南暖地の二番花は4月の天候で少なめ。 潤沢な入荷で販売はきびしい状況。	
	見通し	大田花き FAJ 第一花き 世田谷花き 東日本板橋花き 東京フラワーポート	上旬は千葉産、茨城産主体、中旬以降は長野産、山形産、福島産が主体となる。上旬は新盆需要で動きがみられるが、中旬以降は厳しい販売状況が見込まれる。 高冷地主体の入荷。ブライダルでやや動きあり。相場は比較的安定。 北海道産、東北産、長野産の出荷が増加。新盆に期待。 長野産、千葉産、福島産、北海道産から入荷。生育順調で潤沢。 東北産が始まり順調入荷。 入荷少なく価格は安定していた。各産地生育は順調だが、若干遅れがみられる。
りんどう	現状	6月上旬から栃木産が、中旬から岩手産、長野産が出荷スタート。相場は例年並み。乾燥・低温で少し落ち着いた出荷ペース。	
	見通し	大田花き FAJ 東京フラワーポート	岩手産、秋田産、長野産、栃木産と出揃う。新盆需要に向けて増加傾向、需要も併せて動きが出る。 岩手産、秋田産、長野産、栃木産が入荷。昨年並みの終了を予定。 6月末のハウス物から始まり、露地物も出てくるため、順調な入荷となる。